

授業計画書 (シラバス)

教科名	キルンワーク I	曜日 時間	水曜日 9:10~15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	----------	----------	-------------------	-------	-------

	前期指導演		後期指導演	
	(年間 2回 4授 業日)	4月	15 22	10月
5月		13 20 27	11月	4 11 18 25
6月		3 17 24	12月	2 9 16
7月		1 8 15	1月	13
9月		2	2月	
方授 法業	(講義 ・ (実技))		(講義 ・ (実技))	
授業 内容	<p>素材としてのガラスを学びながら、キャスト ィング、パート・ド・ヴェール、フュージ ィング、スランピングといったキルンワ ークの基礎技術を修得する。</p> <p>スケッチブックは、アイデアを整理し発展 させていく上で有効であり、その記録は 担当教員とのコミュニケーションを図る ための道具として活用する。あわせて、 制作データ（ガラスの配合や電気炉の 温度スケジュールなど）もスケッチブ ックに記録する。</p> <p>講評日：9月2日</p>		<p>キャストィングの応用としてロスト・ワ ックスの技法を学び、新たな造形表現 を習得する。後半では、前期に学んだ 素材や技術をベースに、新たな表現手 法の探求に取り組む。</p> <p>授業を通して、素材や技法、制作プロ セスを総合的に考える視点を身につけ る機会とする。また、作品の最終展 示まで責任を持って制作に取り組むこ とを重視する。</p> <p>講評日：1月13日</p>	
到達 目標	この授業では、キルンワークの基本的な 技法を修得するとともに、素材の特性 に気付くことを目標とする。		学生が、ガラス表現において素材、技 術、そして制作プロセスを総合的に考 えること、また作品の最終展示まで意 識を持って制作に取り組むことを目標 とする。	
成 績 評 価	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学 習態度／提出期限の厳守／授業の目 標水準の到達／出席状況など。		成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学 習態度／提出期限の厳守／課題の完 成度／個人の成長度／出席状況など。	
留 意 事 項	学生にとって初めてのキルンワークの 授業であるため、学生に対して分か りやすい指導を心がける。		2年次にキルンワークの制作を自ら行 えるよう、年間を通してキルンワー クの基礎をしっかりと身に付けさせ る。	